

北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動

【4月の作業内容(21日(土)9時～正午) 参加14人】作業は行わず、湿地内を観察して今後の活動で実施すべき改善個所を探るとともに、各自意見交換を行いながらの勉強会も兼ねる。

北山湿地で初夏の観察会

岡崎市自然共生課は今年も6月に北山湿地で観察会を開催します。講師は、湿地保護の会の特別会員として日頃ご指導いただいている専門の先生方。

当日は、植物ではササユリやバイカツツジ、トキソウ、トウカイコモウセンゴケ、ミミカキ

グサなど、昆虫ではハッチョウトンボをはじめとするさまざまなトンボなど、里山や湿地特有の希少な動植物に出会えることが期待されます。【日時】6月23日(土)9時～正午(雨天時は翌24日)【集合場所】北山湿地駐車場(池金町)【講師】大平仁夫先生(農学博士)、千賀敏之先生(元新編岡崎市史調査委員)【定員】30人(超えた場合、抽選)【持ち物など】筆記用具、メモ帳、飲み物、山歩きのできる服装(長靴・長袖)※望遠レンズまたは高倍率ズームのついたデジカメ、ルーペ(虫めがね)、

4月25日(水)、昨年に引き続き、安城野草会の55人の皆さんが北山湿地を訪れ、交流会を行いました。

楽しみにしていたギフチョウは発生のピークを過ぎていて、その日は1頭を確認したのみで、幸運な一部の方のみが見ることができました。それでも、満開のコバノミツバツツジ、ハルリンドウ、ナンカイイワカガミ等の草花、昆虫、恋をささやく小鳥の声など見聞き



し、北山湿地の春を満喫していただき、皆さん大満足をして帰途に就いたとの事。後日お礼の言葉をいただきました。来年もよろしくとの事。(文と写真/おかざき湿地保護の会 小玉公明)
※同会の昨年の北山湿地訪問については本紙64号参照。同会について詳細はインターネットで「安城野草会」で検索。



双眼鏡・単眼鏡があると便利【申し込み・問い合わせ】はがき・FAX・Eメールに「北山湿地観察会」として郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。同課自然保護班まで。6月15日必着(FAX番号・メールアドレスは本紙欄外に記載)。

【ホタルの季節がやってきた!】

〈千万町茅葺屋敷〉【ホタルを観る会】6月23日(土)19時～21時 ◆先着30人 ◆懐中電灯持参 ◆5月21日より同屋敷まで電話申し込み(83-2590 火曜定休)
〈おかざき自然体験の森〉【これで私もホタル博士】6月8日(金)・9日 18時30分～20時 ◆各日先着20人 ◆管理棟集合 ◆講師:竹内昭次先生 ◆懐中電灯・長靴 ◆雨天時は管理棟にて講義 ◆5月23日より同森まで電話で申し込み(45-5544 月曜定休) 〈岡崎市ホタル学校〉【写真教室 ホタルを写そう】6月2日・9日・23日の土曜 18時～20時30分(3回コース) ◆初心者・中級者各先着10人 ◆カメラ・三脚・長靴・懐中電灯 【ホタルガイドツアー】6月10日・24日の日曜 18時30分～20時30分 ◆各日先着20人 【講演会 ホタルはなぜ光る?】6月17日(日)17時～18時30分 ◆講師:大場裕一氏(名古屋大学大学院助教授) ◆先着40人 【鳥川ホタルまつり】6月16日(土)17時～19時 ◆二胡コンサート・ホタル観賞など ※「ホタルまつり」以外はいずれも5月22日より電話・FAXで同校まで申し込む(☎82-3027 fax 82-3689 月曜定休)。
★ホタル見物客の案内誘導・交通整理ボランティアを募集中。6月8日～17日の金・土・日曜のうち、参加可能日。19時～21時。申し込みは6月1日までにホタル学校へ。★ホタル学校は6月中は21時まで開校。

ホタル観賞イベントでは「懐中電灯持参」が多いですが、これはあくまでも足下の安全確保のため。ホタルは光が大キライ!観賞の際は、むやみにホタルへ光を向けないように。携帯電話、カメラのフラッシュも同様です。

《千万町茅葺屋敷 10 周年》築 300 年余りの古民家が交流の場となって 10 年。日本の原風景を、そして懐かしく、また新鮮な里山の暮らしを体感できます。記念イベントして 6 月 24 日(日) 10 時より山里パーベキューを旧千万町小学校で開催！※水とみどりの森の駅 6 月のプログラムは同ホームページまたは市政だより 5 月 15 日号をチェック。

北山湿地へのご意見ご感想

4 月 14 日、おかざき湿地保護の会が講師を務める観察会が北山湿地で開かれました。観察会終了後、参加者 30 人にアンケートへのご協力をお願いしたところ、20 人から回答をいただきました。以下は記入された主なご意見ご感想および集計結果です。

◆こまかい説明をしていただきわかりやすかった。これからも参加したいです◆自然の山・木・湿地を残していることが素晴らしい◆初めての参加でしたが、和やかな雰囲気の中、とても良い内容の観察会でした。ヒサカキの雄花と雌花の区別がわかりました。市内でギフチョウが見られて感激です。北山湿地はいつまでも大切にしていきたい岡崎の財産だと思います◆雨のため次の日に延期となりましたが、晴れてとても楽しい観察会になりました。ギフチョウを初めて見ることができ大変満足し

ています。いろいろと説明を楽しく聞かせていただきました◆樹木の札をもう少し大きくしてほしい◆トンボのヤゴをたくさん見せていただき楽しかったです。他の季節にも北山湿地を訪りたいです。講師の方の説明がわかりやすく良かったです◆保護活動に力を入れていることに感心しました◆これからも北山湿地に定期的に訪りたい◆身近なところに保護されている湿地があり感動しました。守っていくのは大変ですが大切にしていきたいです。季節によって変化していく湿地をこれからも楽しみたいです◆身近なところにすばらしい湿地があることを初めて知りました。日頃保全していただいているおかげで楽しむことができました◆初めて観察会に参加しましたが、少し興味を持ちました◆とても勉強になりました。ありがとうございました

◆ちょっと専門的なこともわかりやすく教えていただき、おもしろかったです。四季おりおり訪れたいです。気持ちよく観察会に参加できたのも、日頃保全活動をされている方々のおかげだということも良くわかりました◆身近なところにすばらしい自然が残っていてうれしいです。いつまでも大切に守っていかなければならないと感じました。保全活動ご苦労様です。また参加します。

【性別】男 6 人 女 14 人【年齢】30 代 1 人 40 代 1 人 50 代 2 人 60 代 13 人 70 歳以上 2 人 無回答 1 人【北山湿地に訪れるのは何回目か】初めて 13 人 2 回目 2 人 3 回以上 5 人【北山湿地を何で知ったか(複数回答)】観察会 2 人 ホームページ 2 人 新聞・雑誌 1 人 知人から 14 人 その他 6 人(市政だより)【本日の観察会の内容について】満足 20 人【本日の観察会の時間(3 時間)はどう思うか】ちょうどいい 19 人 その他 1 人(途中休憩を入れてほしい)【北山湿地の良いところ、観察会で良かったところ(複数回答)】ミズゴケ 1 人 花 13 人(ナンカイイワカガミ、ショウジョウバカマ、ハルリンドウ、ヒメカンアオイ) 樹木 8 人(コシアブラ) 生き物 13 人(ギフチョウ、タベサナエ、ヤゴ、アズマヒキガエルのおたまじゃくし) 整備状況 3 人(木道など)【北山湿地の悪いところ、改善すべきところ(複数回答)】駐車場 1 人 トイレ 4 人 看板 1 人

きたやま歳時記⑳

ムカシヤンマ

5 月から 6 月にかけて、地面や葉の上にベタッととまっている、黒地に黄色の模様のトンボがいたら、それがムカシヤンマ。

子どもの手のひらを広げたくらいの大きさで、オニヤンマほどではありませんが存在感があります。ただし、オニヤンマのようにあちこち飛び回るようなことはあまりなく、どちらかというとその反対。図鑑には「網をかぶせても逃げない」と書かれてしまうくらいなのんびり屋さんです。以前、



とまっているムカシヤンマに近づいても全く逃げなかったため試しに手をかぶせてみたところ、簡単に捕まえられたことがありました。さすがムカシとつくだけあって、悠久の時の流れに身を任せて過ごしているのかもしれない



ね。(文と写真/おかざき湿地保護の会 川田奈穂子)

上高・恩真寺とともに「東海丘陵湧水湿地群」として 7 月に開催されるラムサール条約第 11 回締約国会議において新規登録される見込みとなった豊田市の矢並湿地。4 月に続き観察会が開かれます。【初夏の矢並湿地観察会】6 月 24 日(日) 9 時 30 分～12 時▼カキランなど初夏の湿地の花やハッチョウトンボを観察▼講師は豊田市自然観察の森レンジャー▼定員 20 人(先着)▼参加費 100 円▼6 月 14 日より自然観察の森まで電話で申し込む(0565-88-1310)。